

2023年3月期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2023年5月12日

<2023年3月期 連結決算>

- ・決算サマリー
- ・連結損益計算書
- ・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益
- ・コア営業利益(全社)増減要因
- ・事業セグメント別 コア営業利益増減分析
- ・非経常項目
- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結財政状態計算書

<2024年3月期 通期業績予想>

- ・業績予想 連結損益計算書
- ・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益
- ・業績予想 コア営業利益(全社)増減要因
- ・配当予想

<参考資料①>

- 3 ・23/3月期 トピックス 20
- 4 ・関係会社数 22
- 5 ・海外売上収益及びコア営業利益推移 23
- 6 ・連結損益計算書 四半期別推移 24
- 7 ・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移 25
- 11 ・コア営業利益増減分析 26
- 12 ・非経常項目 四半期別推移 29
- 13 ・設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数 30
- ・事業セグメント別 EBITDAマージン推移 32
- ・連結財務指標の推移 33

<参考資料②>

- 17 ・ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等 37

<参考資料③>

- 18 ・スペシャリティマテリアルズ 市場別動向 46

2023年3月期 決算

- 厳しい事業環境の中、原燃料価格上昇等の影響に対し価格転嫁活動を継続し、売上収益は前期比17%伸長。
- ディ스플레이・半導体市場における各製品の調整局面やMMA・石化・炭素製品の需要減退により、機能商品及びケミカルズの事業環境は低調に推移したものの、産業ガスが堅調に推移したことに加え、ヘルスケアにおいて多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティにかかる仲裁判断の結果を受けて収益を認識したことに伴い、コア営業利益は前期比20%増益。
- 構造改革の進捗に伴う関連損失の計上により、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比46%減益。

2024年3月期 業績予想

- 経営方針「Forging the future 未来を拓く」に関する実行計画※に基づき、財務目標達成に向け重要施策を着実に実行していく。
- 事業環境の改善にはやや時間を要し、緩やかな回復を想定。24/3月期のコア営業利益は、23/3月期実績（上記ジレニアのロイヤリティにかかる収益認識の影響を除く）との比較で25%増益の2,500億円を予想。
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、23/3月期実績並みの970億円を見込む。
- 24/3月期の配当予想は年間32円/株、前期比で2円増。26/3月期の配当性向35%を目標とし、株主還元の拡充を図る。

※2023年2月公表 <https://www.mcgc.com/ir/pdf/01505/01743.pdf>

連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	113.0	136.0	23.0	20%
ナフサ単価 (¥/kl)	56,600	76,600	20,000	35%

(億円)

	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減	増減率
売上収益	39,769	46,345	6,576	17%
コア営業利益 *1	2,723	3,256	533	20%
非経常項目	309	△ 1,429	△ 1,738	
営業利益	3,032	1,827	△ 1,205	△40%
税引前利益	2,904	1,680	△ 1,224	△42%
当期利益	2,094	1,352	△ 742	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,772	961	△ 811	△46%
非支配持分に帰属する当期利益	322	391	69	
*1 内、持分法投資損益	214	119	△ 95	

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

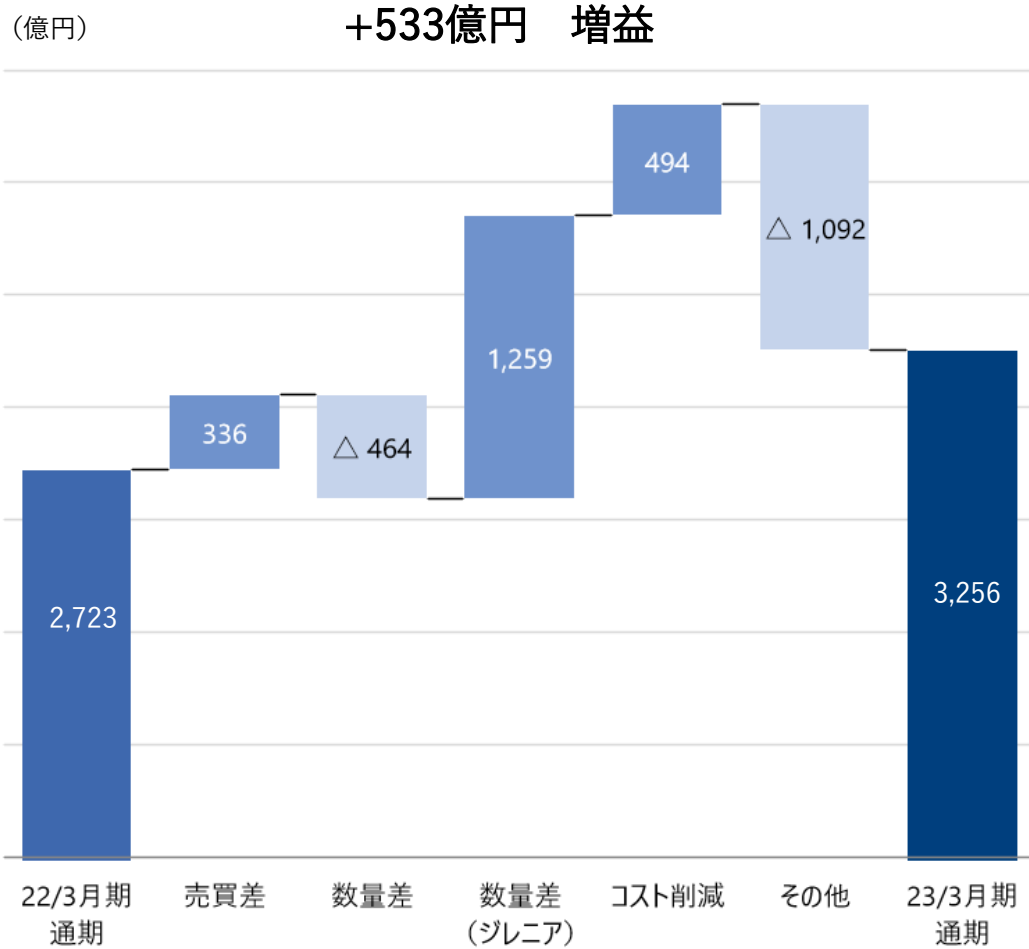
(億円)

	22/3月期 通期		23/3月期 通期		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	39,769	2,723	46,345	3,256	6,576	17%	533	20%
機能商品	11,363	787	12,527	515	1,164	10%	△ 272	△35%
ポリマーズ&コンパウンズ	3,081	185	3,460	251	379		66	
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	4,799	439	5,209	174	410		△ 265	
アドバンストソリューションズ	3,483	163	3,858	90	375		△ 73	
ケミカルズ	12,879	1,022	14,302	92	1,423	11%	△ 930	△91%
MMA	2,981	318	2,786	△ 37	△ 195		△ 355	
石化	7,222	446	7,791	26	569		△ 420	
炭素	2,676	258	3,725	103	1,049		△ 155	
産業ガス	9,501	989	11,779	1,210	2,278	24%	221	22%
ヘルスケア	4,036	△ 70	5,471	1,418	1,435	36%	1,488	-
その他	1,990	△ 5	2,266	21	276	14%	26	-

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

【在庫評価損益】	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減
ポリマーズ&コンパウンズ	27	14	△ 13
石化	354	195	△ 159
炭素	90	△ 9	△ 99
合計	471	200	△ 271

コア営業利益（全社） 増減要因

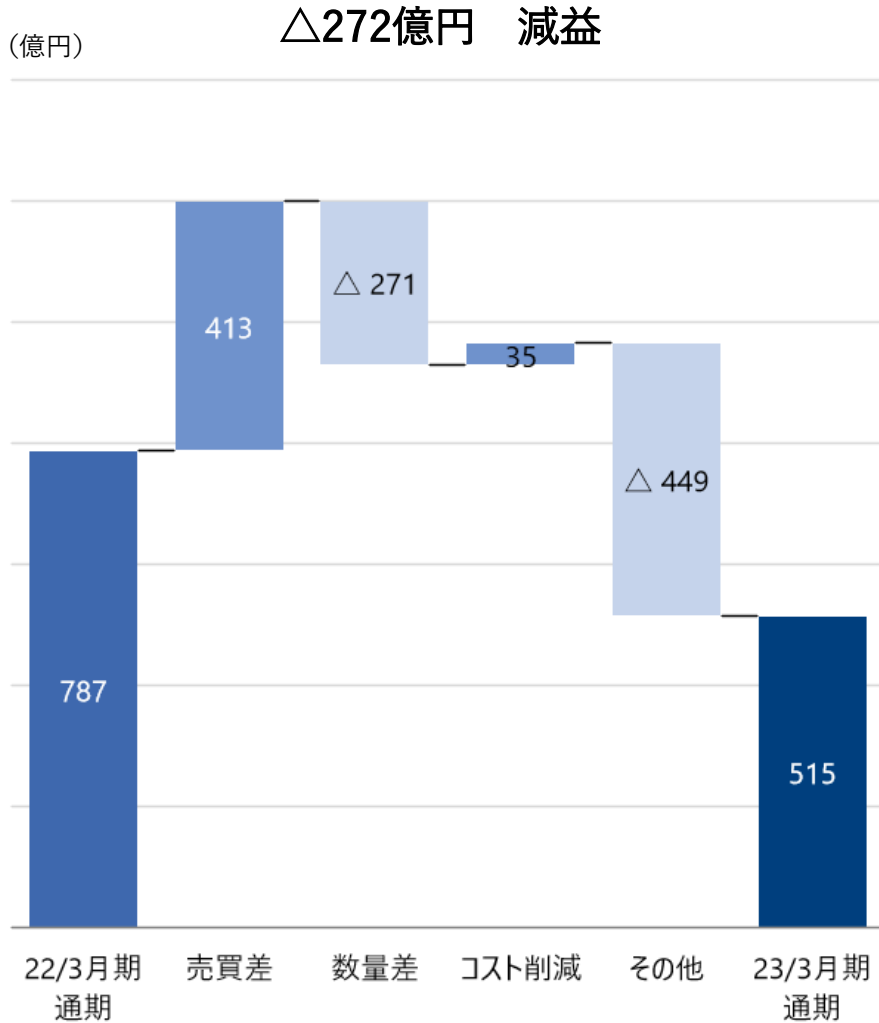


	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減	(億円)			
				売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	2,723	3,256	533	336	795	494	△ 1,092
機能商品	787	515	△ 272	413	△ 271	35	△ 449
ケミカルズ	1,022	92	△ 930	△ 227	△ 456	61	△ 308
産業ガス	989	1,210	221	226	78	269	△ 352
ヘルスケア	△ 70	1,418	1,488	△ 75	1,430	74	59
その他	△ 5	21	26	△ 1	14	55	△ 42

*1 在庫評価損益差△271億円・持分法投資損益差△95億円等の金額が含まれております。

為替影響	131	269	0	-	△ 138
うち換算差	231				

機能商品セグメント コア営業利益増減分析



ポリマーズ&コンパウンズ (+66)

- 売買差 (+) 原料価格上昇に伴い食品や自動車用途等において価格転嫁進捗
- 数量差 (-) 自動車用途を中心にPC、PBT及びコーティング材料減販
- その他 (※)

フィルムズ&モルディングマテリアルズ (△265)

- 売買差 (+) エンジニアリングプラスチックを中心に価格転嫁進捗
- 数量差 (-) ディ스플레이市場の急激な需要減による光学用フィルム減販
- その他 (-) アルミナ繊維事業譲渡影響
- (※)

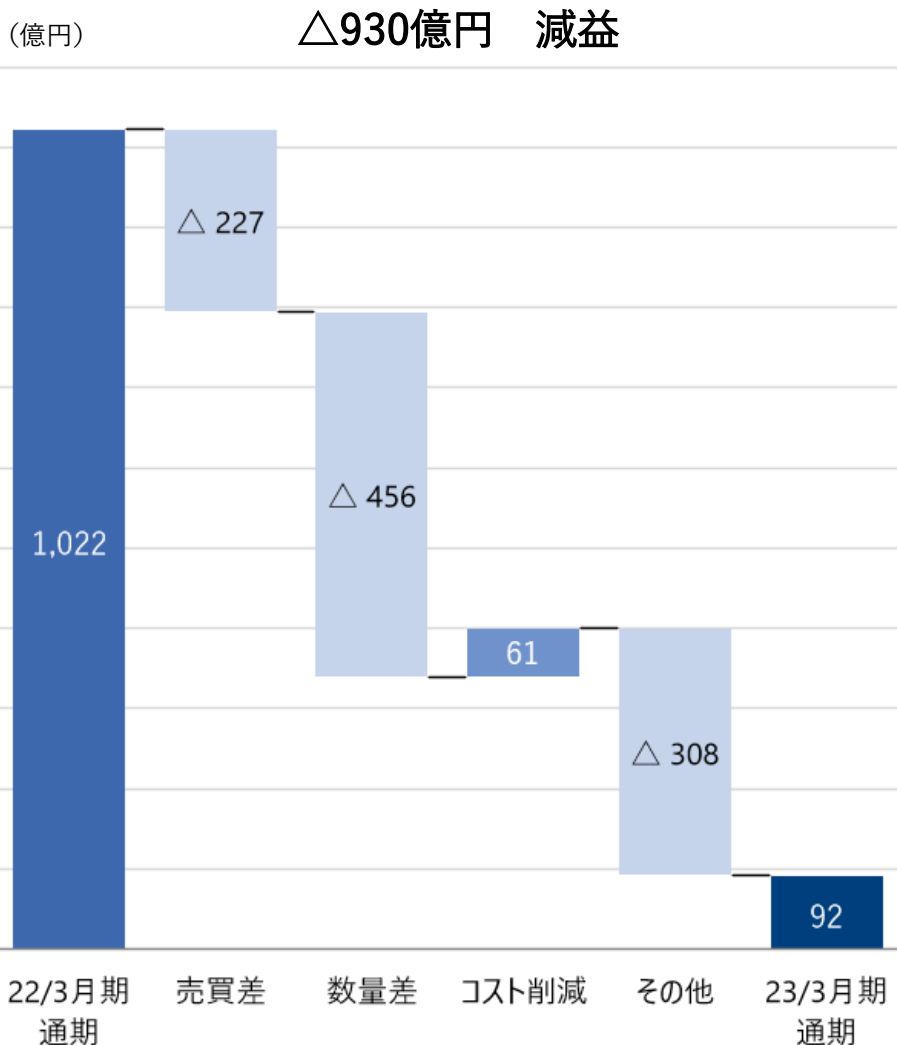
アドバンスソリューションズ (△73)

- 売買差 (+) 原料価格上昇に伴い建材や食品用途等において価格転嫁進捗
- 数量差 (+) 上期において精密洗浄サービスや高機能薬液等の半導体関連事業の需要堅調
- (-) ディ스플레이市場の急激な需要減によりディスプレイ関連部材減販
- その他 (※)

(※)その他内訳

- (-) インフレを背景とした費用の増加

ケミカルズセグメント コア営業利益増減分析



MMA (△355)

- 売買差 (－) 2Q以降の急速な市況下落、原燃料価格上昇に伴う売買差悪化
- 数量差 (－) グローバル全体で需要減退に伴い各拠点で稼働調整および減販

石化 (△420)

- 売買差 (+) ポリオレフィンの価格改定時期ズレ
- (－) ビスフェノールA市況の大幅な下落、原燃料価格上昇に伴う売買差悪化
- 数量差 (－) 需要減退に伴う各製品の稼働調整、定修規模拡大による減販
- その他 (－) 2Q以降の原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小

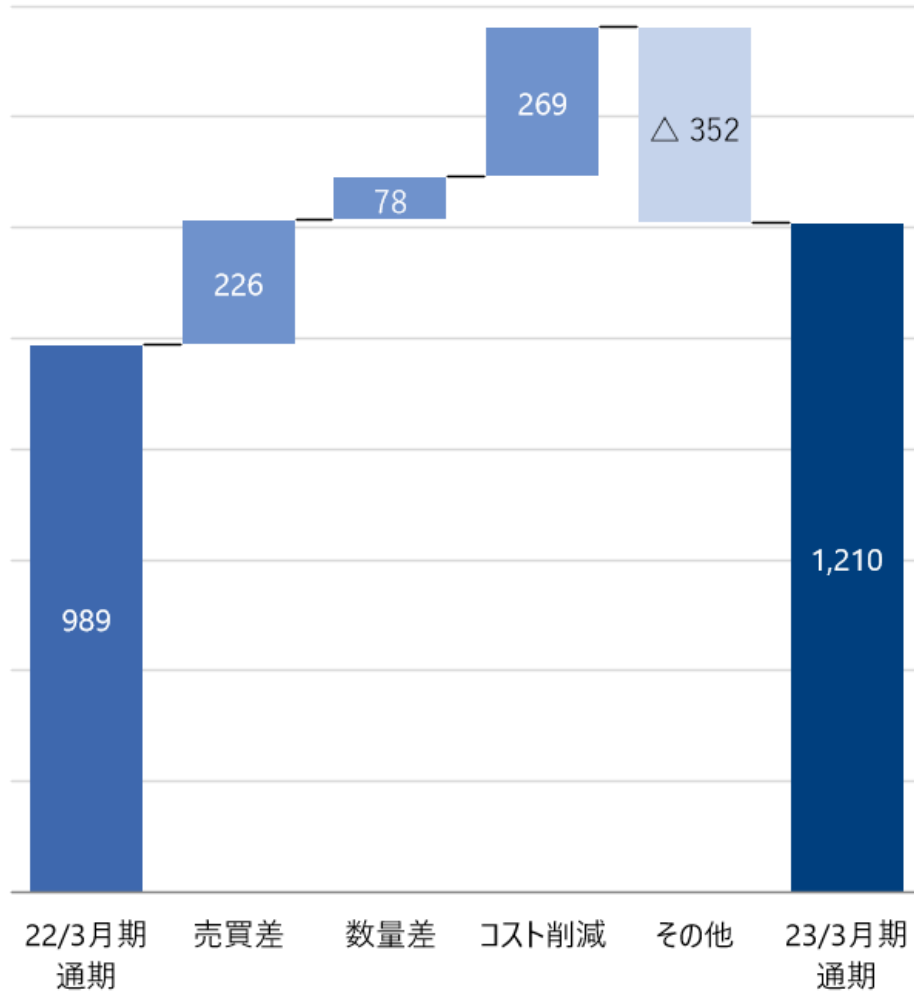
炭素 (△155)

- 売買差 (－) 原燃料価格上昇、コークスの需要減退に伴うコークス市況の弱含みによる売買差悪化
- 数量差 (－) コークスの需要減退に伴う減販
- その他 (－) 2Q以降の原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+221億円 増益



産業ガス (+221)

売買差

(+) 燃料価格上昇に伴う価格転嫁

数量差

(+) 国内外の需要が堅調に推移

コスト削減

(+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

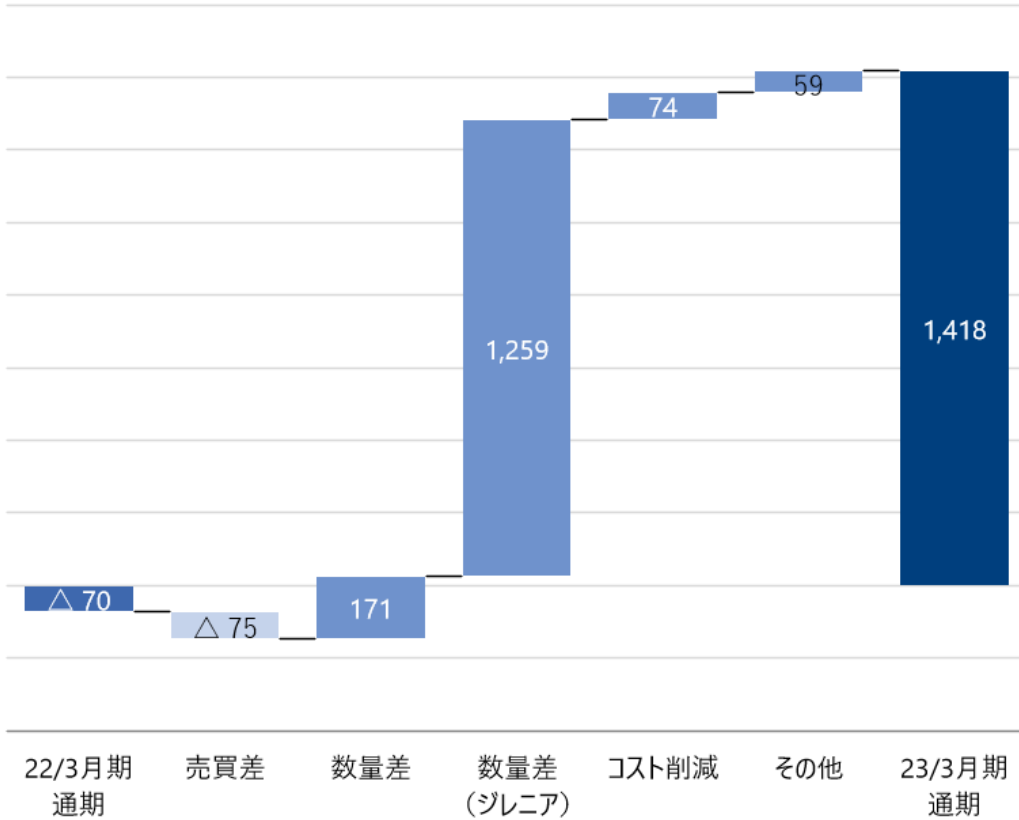
その他

(-) 販売活動回復に伴う費用増加

ヘルスケアセグメント コア営業利益増減分析

+1,488億円 増益

(億円)



ヘルスケア (+1,488)

売買差

(-) 国内医療用医薬品の薬価改定

数量差

(+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の強い立ち上がりや、
免疫炎症領域のステラーラを中心に国内重点品における販売伸長
(+) 多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティに係る仲裁判断の結果
を受けた収益認識

コスト削減

(+) メディカゴ社の事業撤退による研究開発費等の減少

その他

(+) 無形資産譲渡益

非経常項目

(億円)

	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減
非経常項目 合計	309	△ 1,429	△ 1,738
関係会社株式売却益	19	33	14
環境対策費戻入益	-	31	31
仲裁裁定に伴う利益	-	29	29
事業譲渡益	608	-	△ 608
減損損失	△ 204	△ 934	△ 730
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	-	△ 267	△ 267
特別退職金	△ 26	△ 106	△ 80
事業整理損失引当金繰入額	-	△ 57	△ 57
固定資産除売却損	△ 74	△ 39	35
訴訟損失引当金繰入額	△ 6	△ 36	△ 30
仲裁裁定に伴う損失	-	△ 35	△ 35
事業整理損失	△ 5	△ 33	△ 28
その他	△ 3	△ 15	△ 12

* MMA Cassel工場閉鎖関連損失△687億円（減損損失△393、工場閉鎖関連損失引当金繰入額△267、特別退職金△20、その他△7）

* メディカゴ社 清算△574億円（減損損失△474、事業整理損失引当金繰入額△45、特別退職金△38、事業整理損失△18）

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	22/3月期 通期	23/3月期 通期
営業活動によるCF	3,469	3,552
税前損益	2,904	1,680
減価償却費	2,515	2,696
営業債権債務	△ 22	58
棚卸資産	△ 1,526	△ 452
その他	△ 402	△ 430
投資活動によるCF	△ 1,288	△ 2,476
設備投資	△ 2,577	△ 2,810
資産売却	637	426
投融資 他	652	△ 92
FCF	2,181	1,076

	22/3月期 通期	23/3月期 通期
財務活動によるCF	△ 3,363	△ 608
有利子負債	△ 2,759	31
配当 他	△ 604	△ 639
現金及び現金同等物の増減	△ 1,182	468
為替換算差等	144	46
合計	△ 1,038	514

連結財政状態計算書

(億円)

	22/3月末	23/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,458	2,972	514
営業債権	8,260	8,088	△ 172
棚卸資産	7,452	7,979	527
その他	1,691	2,457	766
流動資産合計	19,861	21,496	1,635
固定資産	23,485	23,671	186
のれん	7,054	7,277	223
投融資等	5,339	5,295	△ 44
非流動資産合計	35,878	36,243	365
資産合計	55,739	57,739	2,000

(億円)

	22/3月末	23/3月末	増減
有利子負債	22,899	23,758	859
営業債務	4,869	4,763	△ 106
その他	9,528	9,337	△ 191
負債合計	37,296	37,858	562
資本金・剰余金等	13,714	14,259	545
その他の資本の構成要素	867	1,384	517
親会社の所有者に帰属する持分	14,581	15,643	1,062
非支配持分	3,862	4,238	376
資本合計	18,443	19,881	1,438
負債・資本合計	55,739	57,739	2,000
ネット有利子負債 *1	20,441	20,786	345
ネットD/Eレシオ	1.40	1.33	△ 0.07
ROE *2	13.2%	6.4%	△ 6.8%

*1 ネット有利子負債(23/3月末)

=有利子負債23,758億円-(現金・現金同等物2,972億円+手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

2024年3月期 通期業績予想

業績予想 連結損益計算書

	136.0	130.0	130.0	130.0	△ 6.0	
為替レート (¥/\$)						
ナフサ単価 (¥/kl)	76,600	67,000	67,000	67,000	△ 9,600	
					(億円)	
	23/3月期 実績	上期	下期	24/3月期 予想	増減	増減率
売上収益	46,345	22,210	23,340	45,550	△ 795	△2%
コア営業利益	3,256	1,080	1,420	2,500	△ 756	△23%
非経常項目	△ 1,429	20	△ 130	△ 110	1,319	
営業利益	1,827	1,100	1,290	2,390	563	31%
税引前利益	1,680	920	1,090	2,010	330	20%
当期利益	1,352	630	800	1,430	78	6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	961	430	540	970	9	1%
非支配持分に帰属する当期利益	391	200	260	460	69	

業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

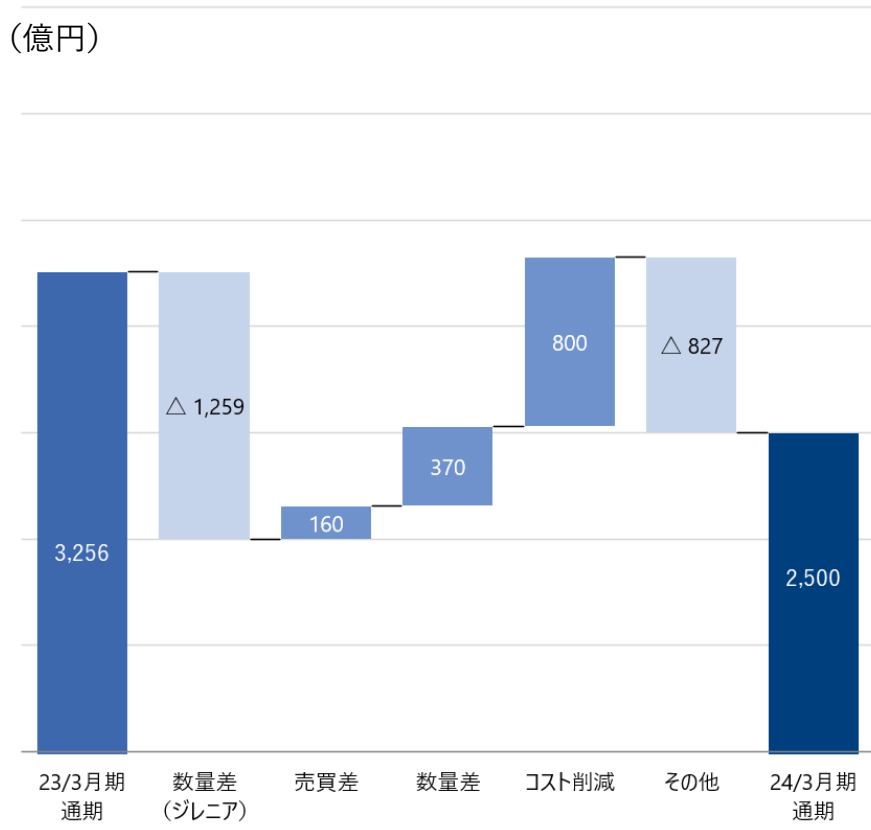
		23/3月期 実績	24/3月期		増減
			上期	下期	
全社	売上収益	46,345	22,210	23,340	△ 795
	コア営業利益	3,256	1,080	1,420	△ 756
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	12,337	5,990	6,390	43
	コア営業利益	515	290	440	215
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	3,516	1,780	1,800	64
	コア営業利益	265	130	140	5
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	5,177	2,480	2,670	△ 27
	コア営業利益	183	120	190	127
アドバンスソリューションズ	売上収益	3,644	1,730	1,920	6
	コア営業利益	67	40	110	83
産業ガス	売上収益	11,779	5,680	5,830	△ 269
	コア営業利益	1,210	590	660	40
ヘルスケア	売上収益	5,354	1,950	1,940	△ 1,464
	コア営業利益	1,442	130	70	△ 1,242
MMA	売上収益	2,786	1,600	1,590	404
	コア営業利益	△ 37	20	80	137
ベーシックマテリアルズ	売上収益	11,484	5,790	6,200	506
	コア営業利益	118	60	160	102
石化	売上収益	7,803	3,870	4,090	157
	コア営業利益	22	50	110	138
炭素	売上収益	3,681	1,920	2,110	349
	コア営業利益	96	10	50	△ 36
その他	売上収益	2,605	1,200	1,390	△ 15
	コア営業利益	8	△ 10	10	△ 8

* 24年3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」、へ変更いたします。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

コア営業利益（全社） 増減要因

売買差改善/増販/コスト削減等により、ジレニア影響を除く前期実績を上回るコア営業利益実現を見込む



売買差

- (+) 高付加価値品の拡販や価格転嫁により売買差改善
- (-) ヘルスケアにおける薬価改定影響

数量差

- (+) ディ스플레이・自動車分野などの需要回復に伴う増販

コスト削減

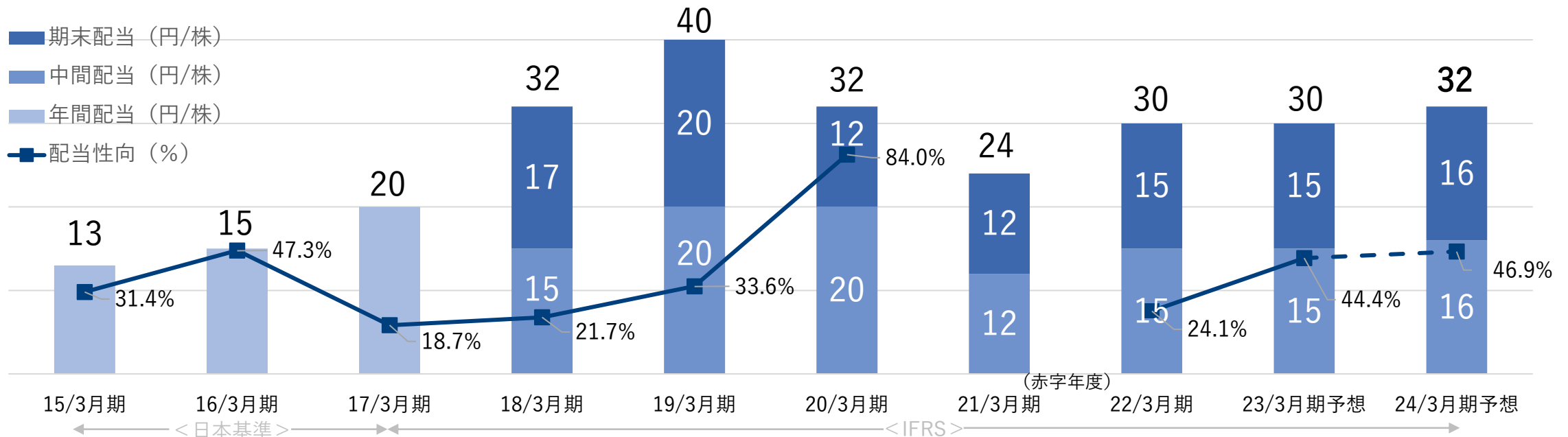
- (+) コスト構造改革の成果実現と着実な実行計画の達成

その他

- (-) 在庫評価益の前期比縮小
- (-) 日本国内及び海外での人件費をはじめとする固定費の増加

配当予想

- 当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としております。
- 配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づく26/3月期までの実行計画において、前期比での配当増加及び26/3月期の配当性向35%を目標としております。
- 23/3月期の1株当り期末配当金予想額は2022年5月13日発表の通り15円であり、5月19日の取締役会において決議予定です。
- 24/3月期の配当予想につきましては、上記の方針に基づき、第2四半期末及び期末の1株当り配当金を、23/3月期の期末配当から1円引き上げ16円といたします。これにより、24/3月期における1株当り年間配当予想は32円となります。



参考資料①

機能商品

- 中国において、低膨張を特長とする天然系負極材の生産能力を増強することを決定しました。2023年度前半の稼働を目標としています。
(中国生産能力：2,000トン/年→12,000トン/年)
- 英国において、エチレン・ビニルアルコール共重合樹脂「ソアノール™」の生産能力を増強することを決定しました。2025年7月の稼働を目標としています。(英国生産能力：18,000トン/年→39,000トン/年)
- 広島事業所で製造しているアクリル繊維「ボンネル™」・「ボンネル™M.V.P」の事業から2023年中に撤退することを、決定しました。
- ポリビニルアルコール樹脂の「ゴーセネックス™」および「ニチゴーGポリマー™」について、岡山事業所に新たなプラントを建設し、生産能力を現行の約2倍に増強することを決定しました。2024年10月の稼働を目標としています。
- 当社グループが保有する三菱ケミカルアグリドリーム株式会社の全株式を、2023年9月を目途に住化積水フィルム株式会社へ譲渡する契約を同年3月31日付で締結しました。

ケミカルズ

- 当社グループの独自技術である新エチレン法（アルファ法）を用いたMMAモノマーのプラント新設プロジェクト（生産能力：35万トン/年を予定）を米国において進めていますが、市場の変動性等を踏まえ、最終投資決定を2023年度に延期することとしました。
- MMA事業の競争力の強化と供給体制の最適化を図るため、英国のキャッセル工場（生産能力：約20万トン/年）におけるMMA関連製品の生産を、2023年2月に終了しました。

産業ガス

- ペルーの国営石油会社Petroleos del Peruと、同社のTalara製油所向けで、水素及び窒素プラントの運転、保守、供給に関する契約を締結しました。水素及び窒素の供給は、2023年2月から開始しています。
- Vertex Energyと、同社がアラバマ州モービルに保有する生産量7万5千バレル/日の製油所向けに、既設設備からの水素供給に加え、新たに再生可能燃料を原料とした水素の長期供給契約を締結しました。
- インド政府系公社ヌマリガル製油所と、20年間の水素及び副生蒸気の長期供給を受注しました。製油所に隣接するプラントを新たに建設し、水素及び副生蒸気を供給します。本プラントは2025年に完成し、稼働する予定です。

ヘルスケア

- (株)エーピーアイコーポレーションの全株式を、2022年12月にU B E 株式会社（本社：山口県宇部市）へ譲渡しました。
- 新型コロナウイルス感染症予防ワクチン「COVIFENZ®」の商用化断念及びメディカゴ社の事業撤退および清算を進めることを決定しました。
- Muse細胞を用いた再生医療等製品「CL2020」の開発を中止することを決定しました。
- Novartis Pharma社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア®」のロイヤリティ収入の仲裁手続きに関して、2023年2月に仲裁判断を受領したことに伴い、仲裁手続き中に売上収益として認識していなかったロイヤリティの一部について2022年度第4四半期で一括して売上収益として認識しました。

(会社数)

	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期
関係会社合計	754	698	666	625	593
連結会社合計	705	659	630	590	556
連結子会社	550	510	487	448	422
国内	193	174	161	156	144
海外	357	336	326	292	278
ジョイント・オペレーション	4	4	4	4	3
持分法適用会社	151	145	137	137	131
売却目的保有資産に分類しているため 持分法を適用していない会社	-	-	2	1	-

海外売上収益及びコア営業利益推移

		(億円)					
		19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期	
所在地別							(除、ジレニア影響)
売上収益		38,403	35,805	32,575	39,769	46,345	45,086
国内		25,956	23,678	21,095	25,265	28,626	27,367
海外		12,447	12,127	11,480	14,504	17,719	17,719
コア営業利益		3,141	1,948	1,747	2,723	3,256	1,997
国内		1,623	995	925	1,597	1,973	714
海外		1,518	953	822	1,126	1,283	1,283
向先別							
海外売上収益		16,646	15,344	14,649	18,606	23,153	21,894
		43.3%	42.9%	45.0%	46.8%	50.0%	48.6%

連結損益計算書 四半期別推移



為替レート (¥/\$)

109.8 110.4 114.2 117.8 113.0

ナフサ単価 (¥/kl)

47,700 53,500 60,700 64,600 56,600

131.3

139.4

139.9

133.4

136.0

86,100

81,400

72,500

66,500

76,600

(億円)

22/3月期

23/3月期

1Q 2Q 3Q 4Q 累計

1Q 2Q 3Q 4Q 累計

売上収益 9,283 9,568 10,152 10,766 39,769

11,065 11,633 11,364 12,283 46,345

コア営業利益 *1 887 674 628 534 2,723

721 505 553 1,477 3,256

非経常項目 △ 17 △ 13 23 316 309

△ 41 △ 1 △ 1,251 △ 136 △ 1,429

営業利益(△損失) 870 661 651 850 3,032

680 504 △ 698 1,341 1,827

金融収益・費用 △ 17 △ 42 △ 41 △ 28 △ 128

71 △ 35 △ 130 △ 53 △ 147

(内、受取配当金) (38) (1) (9) (0) (48)

(78) (2) (11) (32) (123)

(内、為替差損益) (△ 0) (7) (2) (20) (29)

(37) (30) (△ 64) (△ 4) (△ 1)

税引前利益(△損失) 853 619 610 822 2,904

751 469 △ 828 1,288 1,680

法人所得税 △ 261 △ 192 △ 156 △ 201 △ 810

△ 218 △ 87 361 △ 384 △ 328

当期利益(△損失) 592 427 454 621 2,094

533 382 △ 467 904 1,352

親会社の所有者に帰属する

当期利益(△損失) 499 353 369 551 1,772

449 290 △ 569 791 961

非支配持分に帰属する当期利益 93 74 85 70 322

84 92 102 113 391

*1 内、持分法投資損益 46 50 41 77 214

40 32 27 20 119

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

	22/3月期					23/3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
全社	売上収益	9,283	9,568	10,152	10,766	39,769	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345
	コア営業利益	887	674	628	534	2,723	721	505	553	1,477	3,256
機能商品	売上収益	2,831	2,836	2,822	2,874	11,363	3,195	3,148	3,102	3,082	12,527
	コア営業利益	266	192	117	212	787	212	211	118	△ 26	515
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	801	788	766	726	3,081	884	859	858	859	3,460
	コア営業利益	80	38	11	56	185	67	93	52	39	251
フィルムズ&モルディングマテリアルズ	売上収益	1,202	1,179	1,197	1,221	4,799	1,370	1,319	1,291	1,229	5,209
	コア営業利益	153	118	72	96	439	109	76	33	△ 44	174
アドバンストソリューションズ	売上収益	828	869	859	927	3,483	941	970	953	994	3,858
	コア営業利益	33	36	34	60	163	36	42	33	△ 21	90
ケミカルズ	売上収益	2,919	3,021	3,278	3,661	12,879	3,590	3,864	3,560	3,288	14,302
	コア営業利益	348	274	213	187	1,022	189	38	△ 34	△ 101	92
MMA	売上収益	776	734	733	738	2,981	800	717	633	636	2,786
	コア営業利益	123	125	47	23	318	26	18	△ 44	△ 37	△ 37
石化	売上収益	1,604	1,718	1,899	2,001	7,222	1,863	2,094	2,019	1,815	7,791
	コア営業利益	160	105	71	110	446	67	28	△ 1	△ 68	26
炭素	売上収益	539	569	646	922	2,676	927	1,053	908	837	3,725
	コア営業利益	65	44	95	54	258	96	△ 8	11	4	103
産業ガス	売上収益	2,168	2,273	2,425	2,635	9,501	2,739	2,954	2,971	3,115	11,779
	コア営業利益	238	245	256	250	989	295	248	300	367	1,210
ヘルスケア	売上収益	984	1,001	1,136	915	4,036	1,034	1,086	1,196	2,155	5,471
	コア営業利益	47	△ 36	35	△ 116	△ 70	33	△ 2	154	1,233	1,418
その他	売上収益	381	437	491	681	1,990	507	581	535	643	2,266
	コア営業利益	△ 12	△ 1	7	1	△ 5	△ 8	10	15	4	21

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

コア営業利益増減分析 (3Q→4Q)

機能商品 △144億円

定修影響縮小及び各種製品の売買差改善も、高機能エンジニアリングプラスチックや炭素繊維、半導体関連事業等の需要減に加えて、一部決算整理影響等により減益

ケミカルズ △ 67億円

MMA：市況下落により売買差悪化も、一部数量増や、欧州拠点閉鎖によるコスト削減等により赤字縮小

石化：各製品需要減に伴う減産・減販や、ビスフェノールAの市況下落等により減益

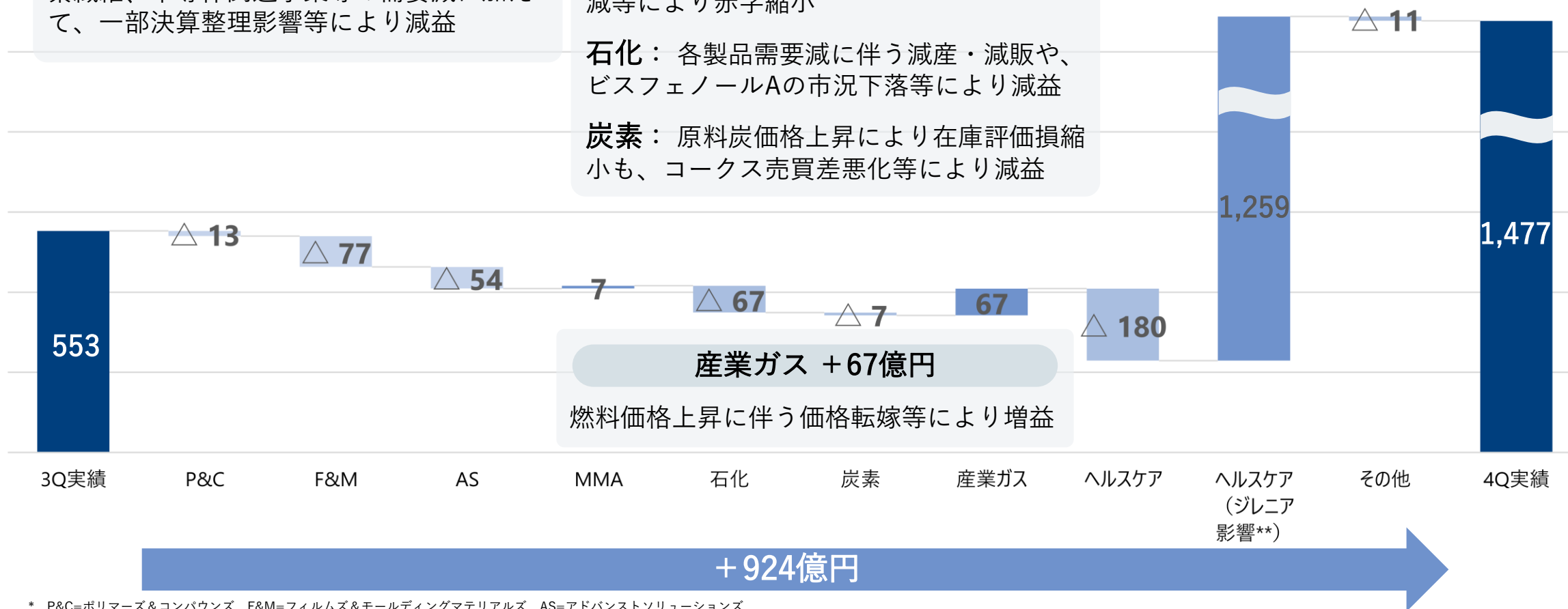
炭素：原料炭価格上昇により在庫評価損縮小も、コークス売買差悪化等により減益

ヘルスケア (ジレニア影響**除く) △ 180億円

国内医療用医薬品の薬価改定前の買い控えや、3Qインフルエンザワクチン販売及び無形資産譲渡益影響等により減益

産業ガス +67億円

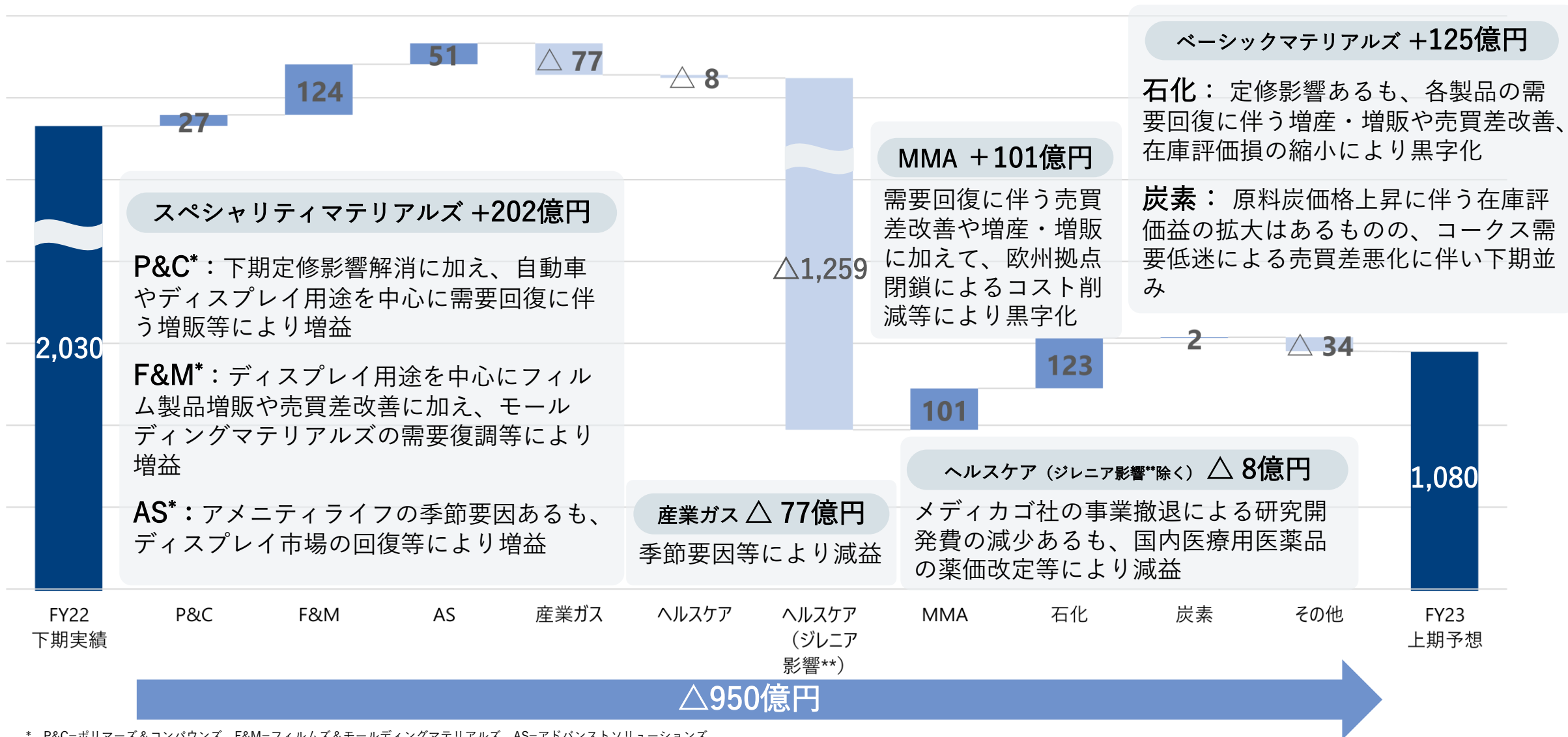
燃料価格上昇に伴う価格転嫁等により増益



* P&C=ポリマーズ&コンパウンズ、F&M=フィルムズ&モールディングマテリアルズ、AS=アドバンスソリューションズ

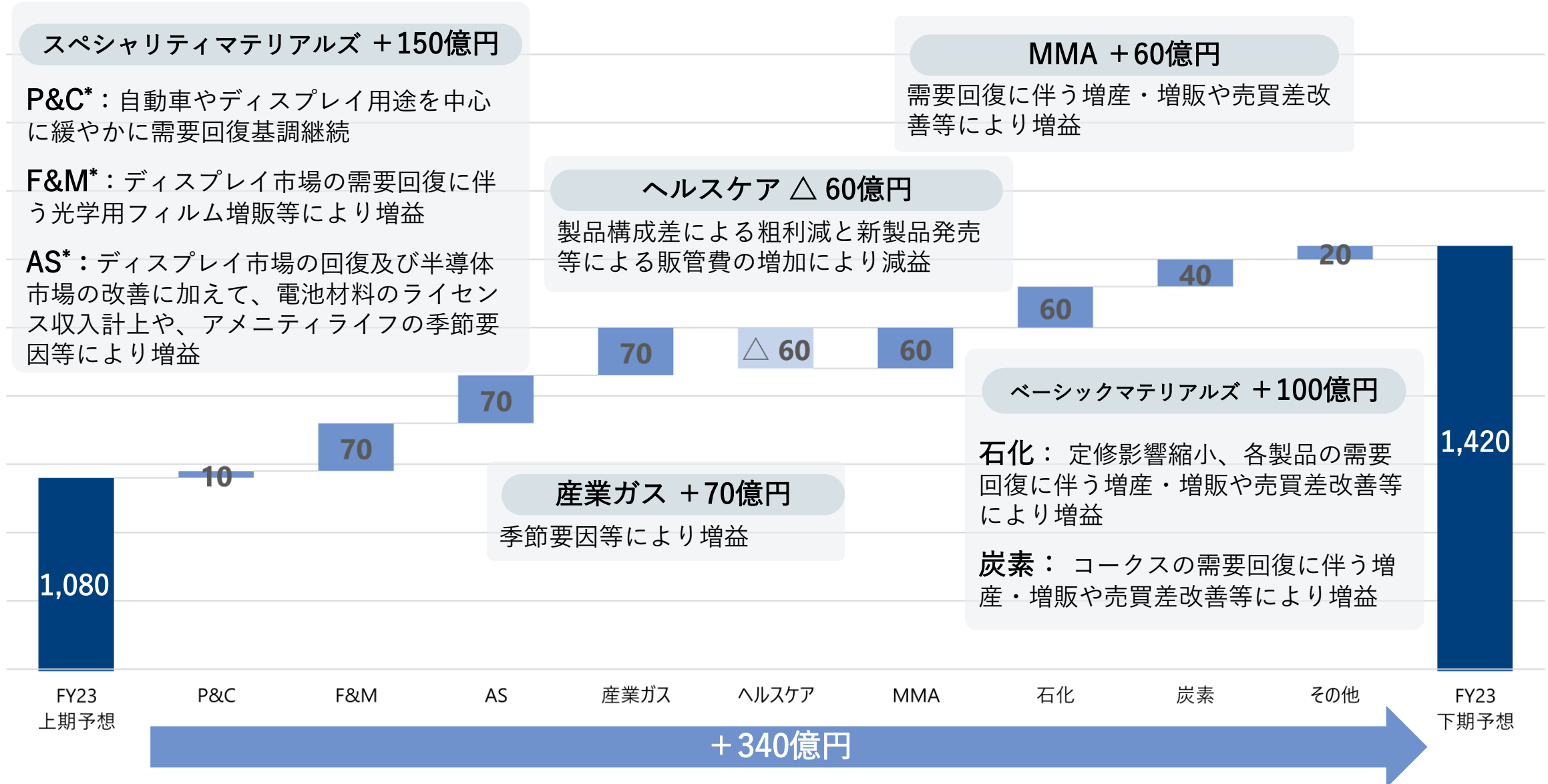
** 多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティに係る仲裁判断の結果を受け、2023年3月期第4四半期において一括で収益認識した影響

コア営業利益増減分析（FY22下期→FY23上期）



* P&C=ポリマーズ&コンパウンズ、F&M=フィルムズ&モールディングマテリアルズ、AS=アドバンスソリューションズ
** 多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティに係る仲裁判断の結果を受け、2023年3月期第4四半期において一括で収益認識した影響

コア営業利益増減分析 (FY23上期→下期)



スペシャルティマテリアルズ +150億円

P&C*：自動車やディスプレイ用途を中心に緩やかに需要回復基調継続

F&M*：ディスプレイ市場の需要回復に伴う光学用フィルム増販等により増益

AS*：ディスプレイ市場の回復及び半導体市場の改善に加えて、電池材料のライセンス収入計上や、アメニティライフの季節要因等により増益

ヘルスケア △60億円

製品構成差による粗利減と新製品発売等による販管費の増加により減益

MMA +60億円

需要回復に伴う増産・増販や売買差改善等により増益

産業ガス +70億円

季節要因等により増益

ベーシックマテリアルズ +100億円

石化：定修影響縮小、各製品の需要回復に伴う増産・増販や売買差改善等により増益

炭素：コークスの需要回復に伴う増産・増販や売買差改善等により増益

* P&C=ポリマーズ&コンパウンズ、F&M=フィルムズ&モールディングマテリアルズ、AS=アドバンスソリューションズ

非経常項目 四半期別推移

(億円)

	22/3月期					23/3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
非経常項目 合計	△ 17	△ 13	23	316	309	△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429
関係会社株式売却益	-	19	-	-	19	-	-	22	11	33
環境対策費戻入益	-	-	-	-	-	-	24	-	7	31
仲裁裁定に伴う利益	-	-	-	-	-	-	-	-	29	29
事業譲渡益	-	-	-	608	608	-	-	-	-	-
減損損失	△ 1	△ 18	△ 9	△ 176	△ 204	△ 2	△ 17	△ 858	△ 57	△ 934
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	-	△ 312	45	△ 267
特別退職金	△ 5	△ 0	△ 14	△ 7	△ 26	△ 0	△ 0	△ 43	△ 63	△ 106
事業整理損失引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 57	△ 57
固定資産除売却損	△ 3	△ 24	△ 9	△ 38	△ 74	△ 2	△ 12	△ 10	△ 15	△ 39
訴訟損失引当金繰入額	△ 6	-	-	-	△ 6	-	-	△ 36	-	△ 36
仲裁裁定に伴う損失	-	-	-	-	-	△ 34	△ 1	△ 0	0	△ 35
事業整理損失	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1	△ 5	△ 1	△ 0	△ 6	△ 26	△ 33
その他	△ 1	12	56	△ 70	△ 3	△ 2	5	△ 8	△ 10	△ 15

設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数（23年3月期実績）

(億円)

(人)

	設備投資		減価償却費		研究開発費		従業員数
	22/3月期 実績	23/3月期 実績	22/3月期 実績	23/3月期 実績	22/3月期 実績	23/3月期 実績	
機能商品	687	820	673	692	279	308	26,385
ケミカルズ	613	654	626	633	109	110	7,436
産業ガス	747	966	948	1,081	36	35	19,586
ヘルスケア	195	296	155	142	1,013	907	6,468
その他	304	86	113	148	129	135	8,764
全社	2,546	2,822	2,515	2,696	1,566	1,495	68,639

設備投資・減価償却費・研究開発費（24年3月期予想）

(億円)

	設備投資		減価償却費		研究開発費	
	23/3月期 実績	24/3月期 予想	23/3月期 実績	24/3月期 予想	23/3月期 実績	24/3月期 予想
スペシャリティマテリアルズ	803	1,180	655	690	303	360
産業ガス	966	1,400	1,081	1,090	35	40
ヘルスケア	292	70	135	140	878	630
MMA	209	220	221	230	30	30
ベーシックマテリアルズ	465	380	436	420	80	100
その他	87	50	168	150	169	160
全社	2,822	3,300	2,696	2,720	1,495	1,320

事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	23/3月期 *	24/3月期 予想	26/3月期 目標
全社	12.6%	11.3%	18.0%
スペシャリティマテリアルズ	9.0%	11.3%	16.0%
産業ガス	19.1%	20.0%	24.0%
ヘルスケア	29.4%	8.7%	15.0%
MMA	6.4%	10.0%	15.0%
ベーシックマテリアルズ	4.7%	5.3%	—

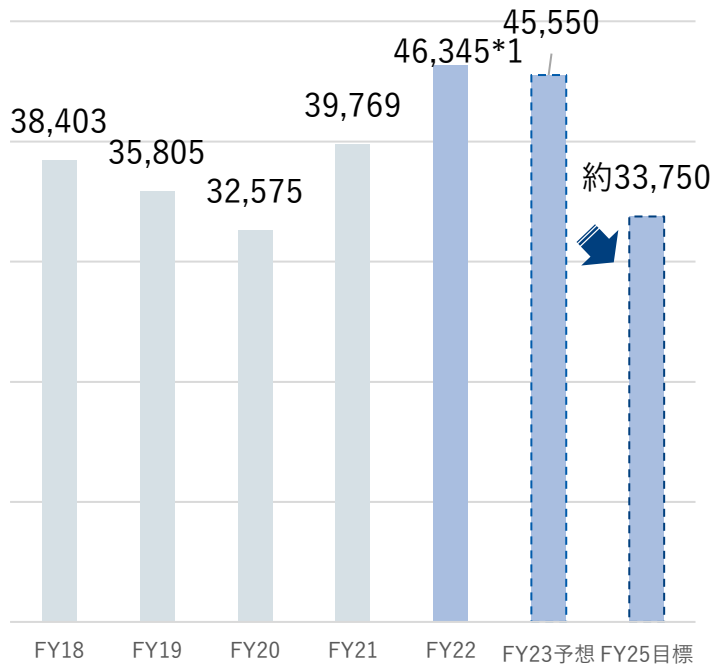
EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

* ジレニアの仲裁判断の結果を控除して算定した23年3月期のEBITDAマージンは、全社 10.1%、ヘルケア 7.7%です。

売上収益・コア営業利益・EBITDA推移

売上収益

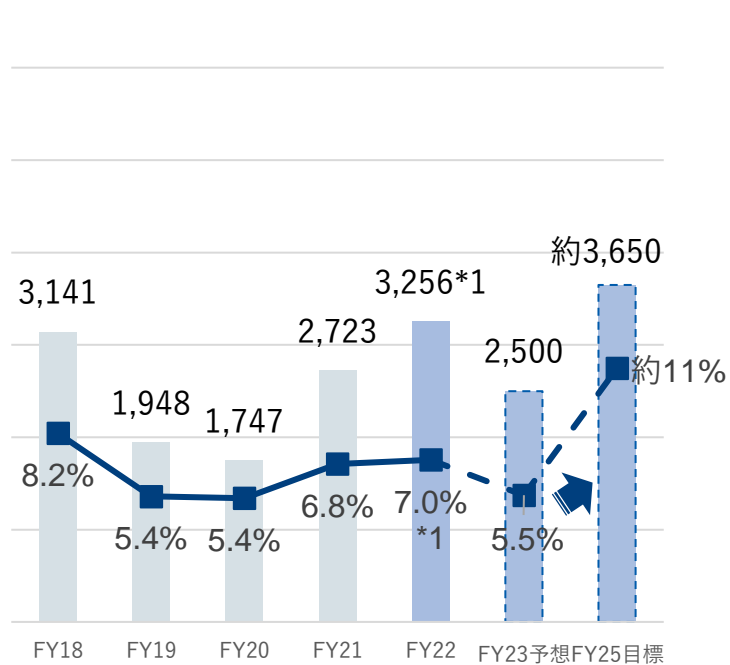
(億円)



*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したFY22の売上収益は45,086億円です。

コア営業利益・コア営業利益率

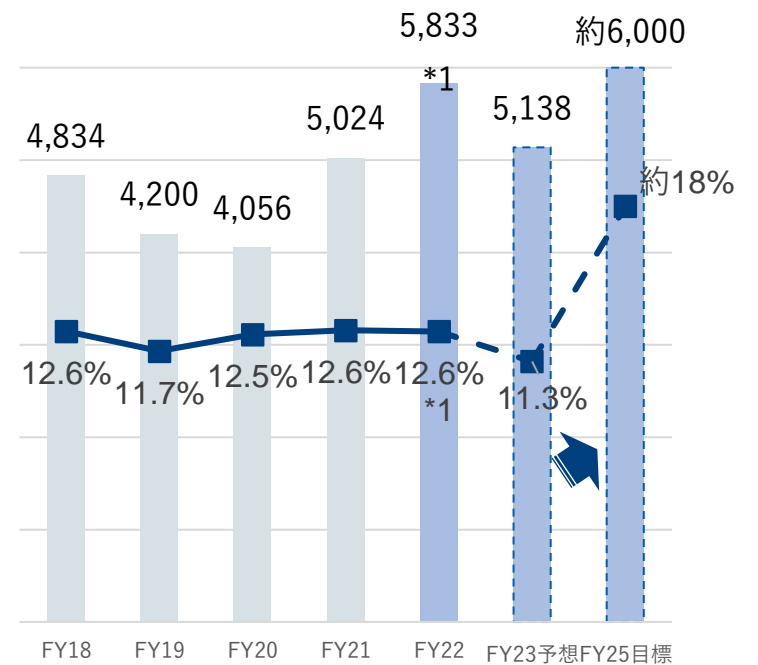
(億円)



*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したFY22のコア営業利益は1,997億円、コア営業利益率は4.4%です。

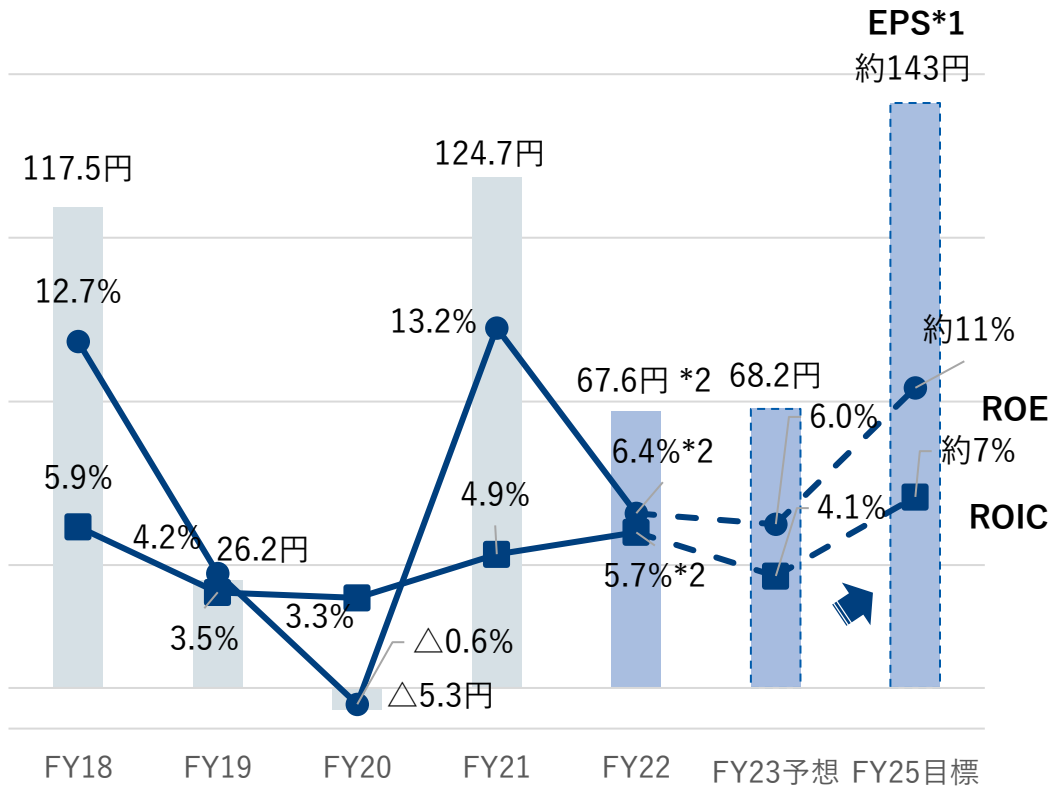
EBITDA・EBITDAマージン

(億円)

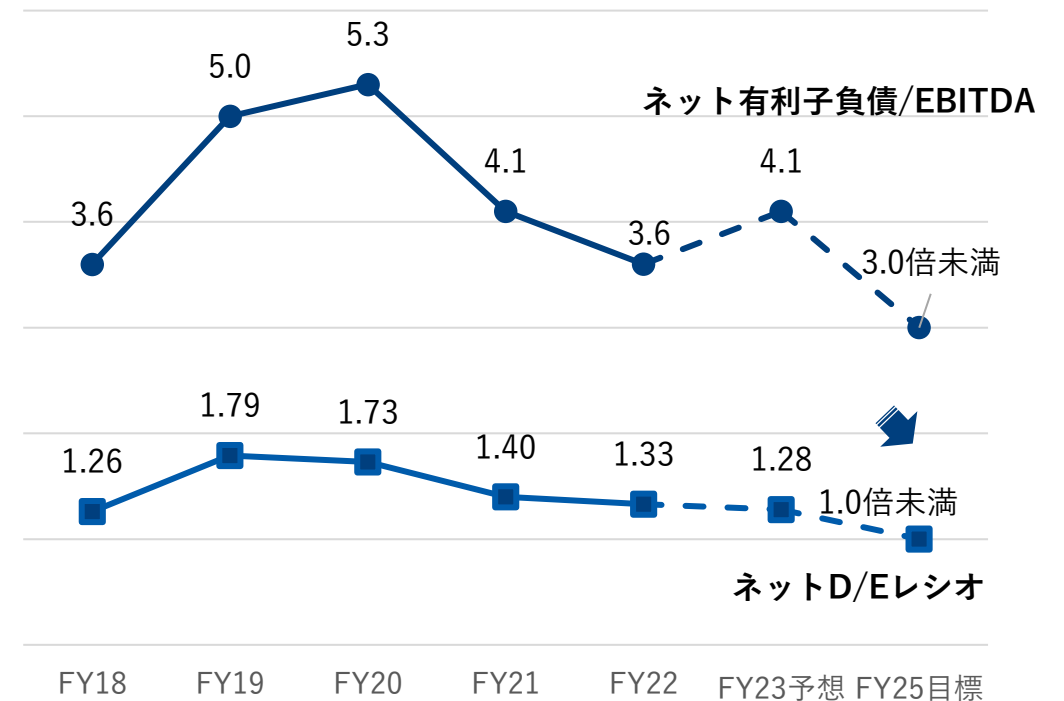


*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したFY22のEBITDAは4,574億円、EBITDAマージンは10.1%です。

EPS・ROIC・ROE



ネット有利子負債/EBITDA・ネットD/Eレシオ



*1 EPSは継続事業に係る1株当たり利益を表示しています。

*2 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したFY22のEPSは4.6円、ROICは3.6%、ROEは0.4%です。

指標	算定式
EBITDA	コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費
ROIC	<p>NOPAT(*1)／投下資本(期首・期末平均)(*2)</p> <p>(*1) NOPAT = (コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益)X(1－税率) ＋コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋受取配当金</p> <p>(*2) 投下資本 = 資本合計＋有利子負債</p>
ROE	親会社の所有者に帰属する当期利益／親会社の所有者に帰属する持分(期首・期末平均)
ネットD/Eレシオ	<p>ネット有利子負債(*3)／親会社の所有者に帰属する持分</p> <p>(*3) ネット有利子負債 = 有利子負債－(現金及び現金同等物＋手元資金運用額(*4))</p> <p>(*4) 手元資金運用額は、当社グループが余剰資金の運用目的で保有する現金同等物以外の譲渡性預金・有価証券等であります。</p>

参考資料②

ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2023年4月25日現在

今回の進捗

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
日本		全身性強皮症						
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫					
ワクチン	MT-2355	日本	5種混合ワクチン ^{*2 *3}					

*1 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

*2 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

*3 一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画

	23/3月期	24/3月期	25/3月期	26/3月期以降
中枢神経	<p>MT-1186 ALS(経口懸濁剤) (米国, カナダ)</p> <p>MT-5199 遅発性ジスキネジア (日本)</p>	<p>MT-1186 ALS(経口懸濁剤) (日本*2)</p>	<p>ND0612 パーキンソン病 (グローバル)</p>	<p>MT-0551 重症筋無力症 (日本)</p>
免疫炎症		<p>MT-7117 EPP, XLP (グローバル)</p>		<p>MT-0551 IgG4関連疾患 (日本)</p>
糖尿病・腎	<p>TA-7284 2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*1 (日本)</p> <p>MP-513 2型糖尿病 (中国)</p>	<p>TA-7284 OD錠 2型糖尿病、 2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*1 (日本)</p>		
ワクチン		<p>MT-2355 5種混合ワクチン*3*4 (日本)</p>		
がん				<p>MT-2111 再発又は難治性びまん性 大細胞型B細胞リンパ腫 (日本)</p>

*1 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*2 日本、スイスで承認取得

*3 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

*4 定期接種化時期により変更の可能性あり

 : グローバル (米国上市年度)
 : 日本・中国
 : 上市済み

ラジカット内用懸濁液2.1% 日本で発売（2023年4月）

ALS患者さんの治療負担軽減・生活の質向上を実現

- 内用懸濁液（経口剤）
- 経管投与も可能
- ALS治療薬である、エダラボン点滴静注製剤（「ラジカット注」、「ラジカット点滴静注バッグ」）と同一有効成分



ALS治療薬の提供

点滴静注剤

日本 2015年発売
米国 2017年発売

負担軽減・生活の質向上

内用懸濁液

日本 2023年発売
米国 2022年発売

治療効果の向上

内用懸濁液 新用法

臨床試験実施中

- 米国において2017年8月に点滴静注剤発売、2022年6月に内用懸濁液発売。
2023年3月に内用懸濁液または点滴静注剤の投与患者数10,000名超

「マンジャロ^{*1}皮下注2.5mg/5mgアテオス」日本で発売^{*2} (2023年4月)

・ 糖尿病・腎領域におけるポートフォリオの強化



2012年度
DPP-4阻害剤
「テネリア」発売

2014年度
SGLT2阻害剤
「カナグル」発売

2017年度
テネリアとカナグルの
配合剤
「カナリア」発売

2020年度
腎性貧血治療剤
(経口剤)
「バフセオ」発売

2021年度
剤形追加
「テネリアOD錠」発売

2022年6月
適応追加
2型糖尿病を合併する慢性腎臓病^{*3}
「カナグル」

2023年3月
剤形追加
「カナグルOD錠」申請

2023年4月
日本イーライリリーと販売提携
世界発の持続性GIP/GLP-1受容体作動薬
「マンジャロ^{*1}皮下注2.5 mg/5 mgアテオス」発売^{*2}



^{*1} 国内で日本イーライリリーが製造販売承認を取得

^{*2} 開始用量 (2.5 mg) と維持用量 (5 mg) の2規格を、高用量 (7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg) に先んじて発売。

^{*3} 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

医薬品事業 損益計算書 (2023年3月期 通期実績)

(億円)

	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減	増減率
売上収益	3,859	5,354	1,495	38.8%
国内	3,182	3,191	8	0.3%
海外	677	2,164	1,487	219.7%
海外売上比率	17.5%	40.4%		
売上原価	1,947	2,059	112	5.8%
売上原価率	50.4%	38.5%		
売上総利益	1,912	3,296	1,383	72.3%
販管費等	1,942	1,853	△ 89	△ 4.6%
研究開発費	969	878	△ 91	△ 9.4%
コア営業利益	△ 30	1,442	1,472	-
非経常項目	△ 127	△ 600	△ 473	
営業利益	△ 157	843	999	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△ 102	853	955	-

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+121億円、コア営業利益で約△98億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2023年3月期 通期実績）

(億円)

	22/3月期 通期	23/3月期 通期	増減	増減率
国内医療用医薬品	3,095	3,100	+ 4	0.1%
重点品・新製品	1,582	1,761	+ 178	11.3%
ステラール	515	662	+ 147	28.5%
シンボニー	433	436	+ 2	0.5%
テネリア	152	154	+ 2	1.3%
カナグル	113	116	+ 3	2.8%
カナリア	104	97	△ 7	△ 6.5%
バフセオ	10	20	+ 10	95.0%
レクサプロ	154	118	△ 35	△ 22.9%
ユプリズナ	13	28	+ 15	113.7%
ルパフィン	88	98	+ 10	11.4%
ジスバル	-	32	+ 32	-
ワクチン	335	351	+ 16	4.9%
インフルエンザ	104	111	+ 6	5.9%
テトラビック	104	93	△ 10	△ 10.0%
ジェービックV	16	41	+ 24	147.8%
ミールビック	54	49	△ 4	△ 8.4%
水痘ワクチン	46	46	+ 0	0.2%
長期収載品等	1,178	988	△ 190	△ 16.2%
レミケード	400	346	△ 54	△ 13.4%
海外医療用医薬品	558	794	+ 236	42.2%
ラジカヴァ	246	462	+ 216	87.8%
ロイヤリティ収入等	133	1,383	+ 1,250	938.9%
インヴォカナ ロイヤリティ	64	63	△ 1	△ 1.9%
ジレニア ロイヤリティ	36	1,285	+ 1,249	3,498.7%

医薬品事業 業績予想 (2024年3月期)

(億円)

	23/3月期 実績	24/3月期		増減	増減率	
		上期	下期			予想
売上収益	5,354	1,950	1,935	3,885	△ 1,469	△ 27.4%
国内	3,191	1,470	1,525	2,995	△ 196	△ 6.1%
海外	2,164	480	410	890	△ 1,274	△ 58.9%
海外売上比率	40.4%	24.6%	21.2%	22.9%		
売上原価	2,059	1,000	1,025	2,025	△ 34	△ 1.6%
売上原価率	38.5%	51.3%	53.0%	52.1%		
売上総利益	3,296	950	910	1,860	△ 1,436	△ 43.6%
販管費等	1,853	820	840	1,660	△ 193	△ 10.4%
研究開発費	878	310	315	625	△ 253	△ 28.8%
コア営業利益	1,442	130	70	200	△ 1,242	△ 86.1%
非経常項目	△ 600	30	-	30	630	
営業利益	843	160	70	230	△ 613	△ 72.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	853	85	45	130	△ 723	△ 84.8%

医薬品 製品別売上収益予想（2024年3月期）

(億円)

	23/3月期 実績	24/3月期		増減	増減率	
		上期	下期			予想
国内医療用医薬品	3,100	1,417	1,477	2,894	△ 206	△ 6.7%
重点品・新製品	1,664	787	833	1,620	△ 44	△ 2.7%
ステラーラ	662	275	301	576	△ 86	△ 12.9%
シンポニー	436	216	217	432	△ 3	△ 0.7%
テネリア	154	55	62	117	△ 37	△ 24.0%
カナグル	116	73	72	145	+ 29	24.7%
カナリア	97	55	49	104	+ 7	6.8%
バフセオ	20	16	15	31	+ 12	58.9%
ユプリズナ	28	16	15	31	+ 3	11.4%
ルパフィン	98	36	53	89	△ 9	△ 9.0%
ジスバル	32	24	27	50	+ 19	58.7%
ラジカット	22	21	23	43	+ 22	100.0%
ワクチン	351	202	185	388	+ 36	10.4%
インフルエンザ	111	66	73	139	+ 28	25.5%
テトラビック	93	52	44	96	+ 3	3.2%
ジェービックV	41	29	22	51	+ 10	25.3%
ミールビック	49	25	17	43	△ 7	△ 13.5%
水痘ワクチン	46	23	24	47	+ 1	2.1%
長期収載品等	1,085	428	458	886	△ 198	△ 18.3%
レミケード	346	157	148	305	△ 41	△ 11.9%
海外医療用医薬品	794	416	361	777	△ 17	△ 2.1%
ラジカヴァ	462	264	204	468	+ 6	1.3%
ロイヤリティ収入等	1,383	-	-	-	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	63	-	-	-	-	-
ジレニア ロイヤリティ	1,285	-	-	-	-	-

参考資料③

スペシャリティマテリアルズ 市場別動向

スペシャリティマテリアルズ・最重要戦略市場動向

最重要戦略市場		主要製品	2023年3月期 第4四半期 概況	2024年3月期以降 見通し
EV/モビリティ		電解液 繊維強化プラスチック・ 複合材料	半導体不足等の影響が徐々に解消し、日本やその他地域では回復基調見られるも、中国においてコロナ感染再拡大影響有	半導体不足や景気減速等の影響が徐々に解消することに伴い、グローバルの自動車生産台数は増加基調を見込む EV市場は拡大基調継続
デジタル	半導体	半導体洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ	下期に本格化した半導体市場の調整局面が4Qも継続 車載やパワーデバイス是好調も、メモリー中心にグローバルに減産実施	調整局面は継続、2023年度下期以降に緩やかな回復を見込む 中長期的には車載及びデータセンター向け等の一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
	エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	市場の在庫調整は進んだものの、ディスプレイ市場の需要低調継続	市場在庫の適正化進捗 本格的な回復は2023年度2Q以降を見込む
食品		乳化剤 包装フィルム 包装材料	外食産業は回復傾向も、食料品値上げによる買い控えの影響で内食・中食需要を中心に低調継続 バリアフィルム市場は拡大基調	食料品値上げによる買い控えの影響が徐々に落ち着き、2023年度下期以降緩やかな回復を見込む バリアフィルム市場は拡大基調継続

スペシャリティマテリアルズ・市場別 売上収益及びEBITDA

(億円)

	23/3月期 実績		24/3月期 予想		26/3月期 目標	
	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA
スペシャリティマテリアルズ	12,300	1,110	12,400	1,400	13,700	2,250
EV/モビリティ	2,000	110	2,300	190	2,800	310
半導体	1,000	190	1,000	200	1,500	350
エレクトロニクス	1,300	160	1,500	210	2,000	420
食品	2,100	340	2,200	340	2,200	390
産業材、メディカル、消費財、建設等	5,900	310	5,400	460	5,200	780

* 市場別内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。